



令和3年1月20日
海上保安庁

令和2年における密輸及び密航取締り状況について ～海上コンテナ貨物から大量の違法薬物を押収～

海上保安庁では、関係機関と合同で海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤やコカインを押収するなど、薬物密輸を水際で阻止しました。

1 密輸取締り状況（別紙1「最近における密輸事犯等の摘発状況」参照）

- (1) 令和2年に当庁が摘発した（関係機関と合同で摘発したのものも含む。以下同じ。）薬物密輸事犯は4件であり、前年と比較し1件減少しました。
- (2) 覚醒剤の密輸入事件は1件であり、その手口は海上貨物に隠匿する手口によるもので、押収量は約237kg（末端密売価格：約151億円相当。使用回数：約790万回相当）でした。
- (3) コカインの密輸入事件は3件であり、そのうち2件は海上貨物に隠匿する手口によるもの、残りの1件は海岸への漂着事件で、押収量は合計で約59kg（1件は鑑定中のため未計上）でした。

2 密航取締り状況（別紙2「最近における密航事犯等の摘発状況」参照）

令和2年に当庁が摘発した密航事犯はありませんでした。

3 その他の取締り状況

- (1) 薬物所持事件は1件摘発しており、船内における大麻不法所持としての摘発でした。
- (2) 銃器事犯は1件摘発しており、船内における実包等の不法所持としての摘発でした。
- (3) 密航を除く出入国管理及び難民認定法の違反（在留カード不携帯等）は20件送致しています。

4 近年の傾向及び今後の対策

近年発生している海上からの薬物の密輸事犯については、一度に大量の覚醒剤を密輸する事犯を相次いで摘発しました。その手口としては、組織化された外国人が関与する小型船舶を利用した瀬取り（洋上における積荷の受渡し）や海上コンテナ貨物への隠匿等によるものです。また、船舶利用による密航については、小型船や貨物船、訪日クルーズ船を利用した数名規模の密航やブローカーが関与する事犯が発生するなど、小口化・巧妙化の傾向が続いていました。

令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大により国際的な人の往来の制限がありましたが、海上保安庁では引き続き水際対策を的確に行うため、国内外の関係機関との連携及び海事・漁業関係者等からの情報収集を強化しつつ、巡視船艇・航空機による監視警戒を適切に実施します。また、薬物・銃器の密輸や密航者の受渡し等の犯罪を引き起こす蓋然性が高い地域から来航する船舶に対して、重点的な立入検査や監視を実施してまいります。

加えて、開催を控えた「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を見据えた水際対策を的確に実施するとともに、引き続き、新型コロナウイルスの感染状況と国境を超える人の往来の状況を注視しつつ、必要な水際対策を講じていきます。

別紙1

最近における密輸事犯等の摘発状況

1. 薬物事犯の摘発状況

| 年別 区別 | | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 令和元年 | 令和2年 |
|-------------|------|----------------|----------|----------|---------------|-------------------------|
| | | 摘発件数 | 12 | 8 | 15 | 9 |
| 押 収 量 | 覚醒剤 | 1,314.39kg | 825.61kg | 310.63kg | 1,647.67kg | 237.38kg |
| | 大麻 | 1.0g | 101.9g | 23.59g | 227.59g | 0 |
| | 麻薬 | 643.39g 66錠 | 71.31kg | 115.21kg | 577.65kg | 59.45kg (鑑定中のものは未計上) |
| | あへん | 7.95g | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 指定薬物 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※表の数値は、当庁が単独又は他機関と合同で摘発したものの。

2. 銃器事犯の摘発状況

| 年別 区別 | | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 令和元年 | 令和2年 |
|-------------|----------------------|-------|-------------|-------|---------------|------|
| | | 摘発件数 | 0 | 3 | 1 | 1 |
| 押 収 量 | 銃砲(丁) | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| | 拳銃(丁) | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 準空気銃等(丁) ※模造拳銃を含む | 0 | 1 (模造拳銃) | 0 | 0 | 0 |
| | 実包(発) | 0 | 0 | 8 | 1 | 38 |

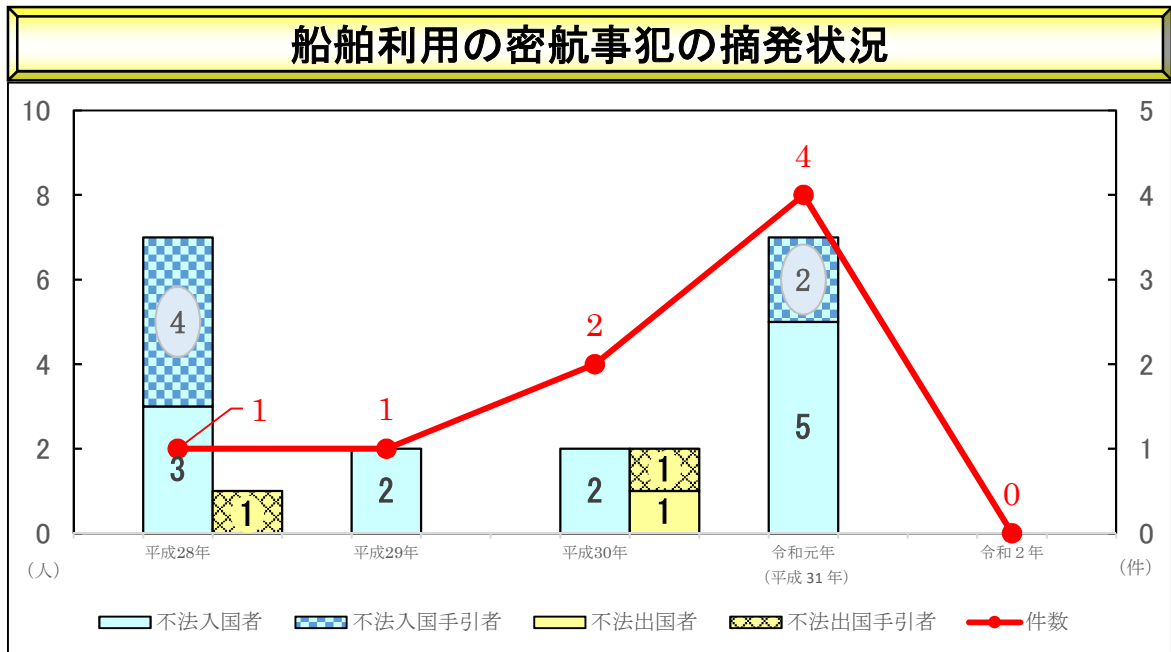
※表の数値は、当庁が単独又は他機関と合同で摘発したものの。

3. 金地金事犯の摘発状況

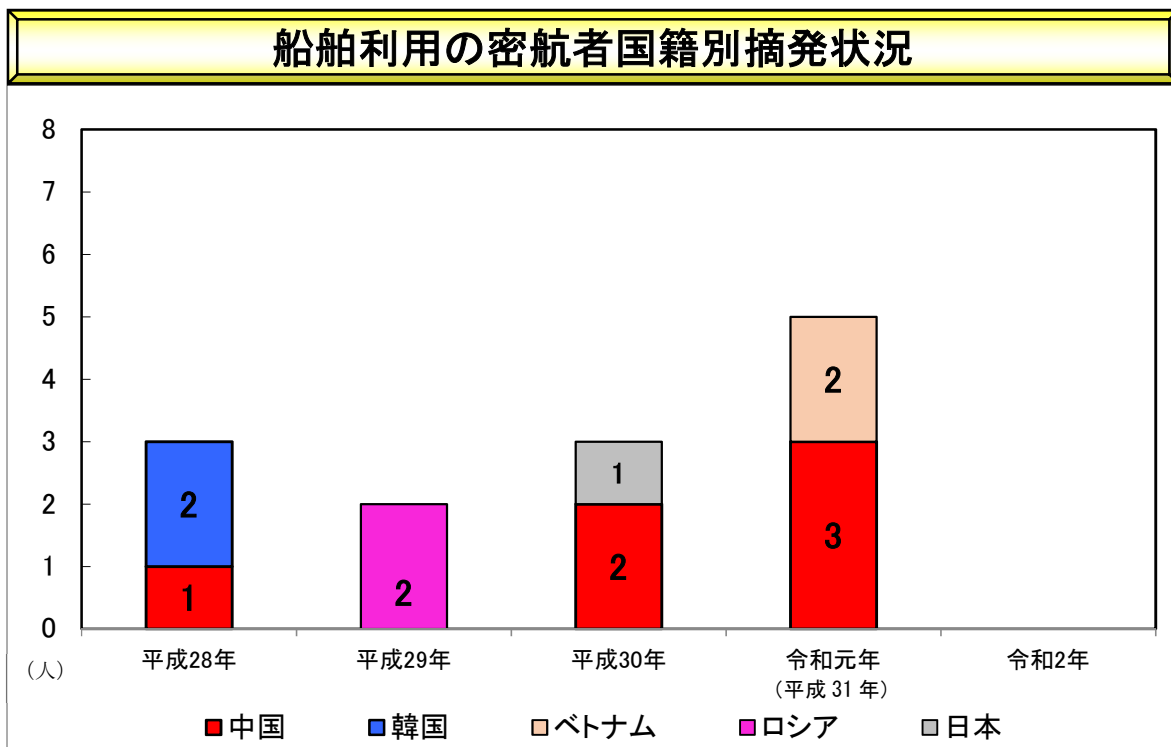
| 年別 区分 | | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 令和元年 | 令和2年 |
|----------|--|-------|-------|-------|---------------|------|
| | | 摘発件数 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 押収量 | | 15kg | 233kg | 0 | 0 | 0 |

※表の数値は、当庁が単独又は他機関と合同で摘発したものの。

最近における密航事犯の摘発状況



(注)・表の数値は海保単独又は他機関と合同で摘発したものを示す。
 ・不法入国者数には不法上陸者を含む。
 ・不法出国者数には不法出国企図者を含む。



(注)・表の数値は海保単独又は他機関と合同で摘発したものを示す。
 ・不法入国者数には不法上陸者を含む。
 ・不法出国者数には不法出国企図者を含む。

令和2年の主な摘発事例

海上コンテナ貨物に隠匿された大量のコカインを摘発（神奈川県横浜市）

第三管区海上保安本部及び国際組織犯罪対策基地は、関係機関と合同で、令和2年2月、ペルー共和国来海上コンテナ貨物に隠匿されたコカイン約58kg、令和2年4月、エクアドル共和国来海上コンテナ貨物からコカイン相当量（鑑定中）を発見し、摘発しました。



令和2年2月、ペルー共和国来海上コンテナ貨物から発見されたコカイン（画像：財務省提供）



令和2年4月、エクアドル共和国来海上コンテナ貨物から発見されたコカイン（画像：財務省提供）